

IBM SPSS Decision Management 6.2 on UNIX インストールガイド

製品のインストールと設定

IBM® SPSS® Decision Managementをインストールする前に、IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services、およびIBM® SPSS® Modeler Serverを含む前提条件となるソフトウェアをインストールして設定する必要があります。システム要件、サポートするアプリケーション サーバー、データベース、および環境はこれらの前提条件によって異なります。サポートされるバージョンの詳細は、<http://www.ibm.com/support>のサポート サイトをご覧ください。

前提条件となるソフトウェアをインストール後に、このドキュメントの指示に従ってIBM SPSS Collaboration and Deployment Servicesと同じマシン上に Decision Management をインストールします。製品をインストールするユーザーは、オペレーティング システムにおいてソフトウェアをインストールする権限、およびインストール先ディレクトリへの読み書き権限が必要です。インストール後、シンクライアント製品は、ネットワーク接続された任意のマシンの Web ブラウザからアクセスできます。

Decision ManagementファイルはIBM SPSS Collaboration and Deployment Services インストール ディレクトリ（たとえば、/opt/IBM/SPSS/Collaboration and Deployment Services/4.2/Server/components/decision-management）。

前提条件となるソフトウェアのインストール

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services をインストールします。手順については、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のマニュアルを参照してください。サポートされるバージョンの詳細は、<http://www.ibm.com/support>のサポート サイトをご覧ください。
- ▶ IBM® SPSS® Modeler Server をインストールします。IBM SPSS Collaboration and Deployment Servicesと同じマシンにも、違うマシンにもインストールすることができます。ただし SPSS Modeler Server は IBM SPSS Collaboration and Deployment Servicesで使用されているアプリケーション サーバーと同じタイム ゾーンで稼働する必要があります。手順については、IBM® SPSS® Modeler のマニュアルを参照してください。サポートされるバージョンの詳細は、<http://www.ibm.com/support>のサポート サイトをご覧ください。
- ▶ SPSS Modeler 展開プラグインのインストールこれらは SPSS Modeler Deployment DVD に入っており、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services がインストールされているのと同じマシンにインストールする必要があります。手順については、SPSS Modeler のマニュアルを参照してください。
- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Manager クライアント内の SPSS Modeler Server に、サーバー定義および資格証明をセットアップします。

インストール IBM SPSS Decision Management

IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services がインストールされているのと同じマシンに IBM® SPSS® Decision Management をインストールする必要があります。

- ▶ IBM SPSS Collaboration and Deployment Services がインストールされているマシンにログオンします。
- ▶ IBM SPSS Collaboration and Deployment Services サーバーを停止します。手順については、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のマニュアルを参照してください。

DVDからのインストール

- ▶ Decision Management インストール ディスクを挿入します。
- ▶ ターミナル アプリケーションを開始し、ディスク ドライブにアクセスできることを確認します。Solaris 上では Volume Manager (vold デーモン) が実行中であることが必要です。
- ▶ ディレクトリを DVD-ROM のマウント ポイントへ変更します。
- ▶ コマンド プロンプトから使用するプラットフォームのインストールを実行します。たとえば、`./SPSS_Decision_Mgmt_62_hpux.bin`。

注：このコマンドは、バイナリ ファイルを実行するオプションを指定して DVD-ROM をマウントしている場合にのみ機能します。代替手段として、DVD-ROM のコピーをローカルに作成できます。インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。

- ▶ インストール プログラムに含まれる指示に従って、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services に製品をインストールします。

ダウンロードしたファイルからのインストール

- ▶ ターミナル アプリケーションを起動します。
- ▶ ファイルをダウンロードしたディレクトリに変更します。
- ▶ コマンド プロンプトから使用するプラットフォームのダウンロードDecision Management インストールを実行します。たとえば、`./SPSS_Decision_Mgmt_62_hpux.bin`。

注：インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。

注：Z Linux にインストールする場合には、Java の実行形式ファイルのパスを、LAX_VMパラメータと指定する必要があるかもしれません。たとえば、

```
./SPSS_Decision_Mgmt_62_zlinux.bin LAX_VM  
/opt/IBM/WebSphere/AppServer/java/bin/javaCollaboration_and_Deployment_Services/4.2.
```

- ▶ インストール プログラムに含まれる指示に従って、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services に製品をインストールします。

IBM SPSS Modelerの拡張機能のインストール

IBM® SPSS® Modelerの拡張機能は、以下のSPSS Modeler 製品をホストし、かつIBM® SPSS® Decision Management または IBM® SPSS® Modeler Advantageを使用するすべてのマシンにインストールする必要があります。

- IBM® SPSS® Modeler クライアント
- IBM® SPSS® Modeler Server
- IBM® SPSS® Modeler Batch
- IBM® SPSS® Modeler Solution Publisher

拡張機能は、Decision Management および IBM SPSS Modeler Advantageで使用されるルールと最適化ノードのサポートを追加するために必要であり、また例で使用されるサンプル データ ファイルをインストールするために必要です。

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services サーバーを停止します。手順については、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のマニュアルを参照してください。
- ▶ 1 つ以上の SPSS Modeler コンポーネントがインストールされているマシンにログインします。

DVDからのインストール

- ▶ Decision Management インストール ディスクを挿入します。
- ▶ ターミナル アプリケーションを開始し、ディスク ドライブにアクセスできることを確認します。Solaris 上では Volume Manager (vold デーモン) が実行中であることが必要です。
- ▶ ディレクトリを DVD-ROM のマウント ポイントへ変更します。
- ▶ コマンド プロンプトから使用するプラットフォームのSPSS Modeler拡張インストールを実行します。たとえば、`./SPSS_Decision_Mgmt_61_Modeler_Lib_hpux.bin`。

注：このコマンドは、バイナリ ファイルを実行するオプションを指定して DVD-ROM をマウントしている場合にのみ機能します。代替手段として、DVD-ROM のコピーをローカルに作成できます。インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。

- ▶ インストール プログラムに含まれる指示に従って、SPSS Modeler 拡張機能をインストールします。

ダウンロードしたファイルからのインストール

- ▶ ターミナル アプリケーションを起動します。
- ▶ ファイルをダウンロードしたディレクトリに変更します。
- ▶ コマンド プロンプトから使用するプラットフォームのダウンロードSPSS Modeler拡張インストールを実行します。たとえば、`./SPSS_Decision_Mgmt_61_Modeler_Lib_hpux.bin`。

注：インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。

前述の SPSS Modeler 製品のいずれかがインストールされおり、かつ Decision Management または IBM SPSS Modeler Advantage を使用するすべてのマシン上でこの手順を繰り返してください。

拡張機能とともに、サンプルデータが SPSS Modeler Server Demos ディレクトリにインストールされます。このディレクトリのサンプル データは、Decision Management アプリケーションで使用する際にアクセス可能です。

事前にビルドされた IBM SPSS Decision Management アプリケーションのインストール

IBM® SPSS® Decision Management で利用可能な事前にビルドされたアプリケーションには以下のものがあります。

- IBM® SPSS® Modeler Advantage
- IBM® SPSS® Decision Management for Customer Interactions (IBM® SPSS® Rules Management を含む)
- IBM® SPSS® Decision Management for Claims (Rules Management を含む)

事前にビルドされたアプリケーションをインストールする前に、前述した Decision Management および IBM® SPSS® Modeler の拡張機能が必ずインストールされていることを確認します。

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services がインストールされているマシンにログオンします。
- ▶ IBM SPSS Collaboration and Deployment Services サーバーを停止します。手順については、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のマニュアルを参照してください。

DVDからのインストール

- ▶ Decision Management インストール ディスクを挿入します。
- ▶ ターミナル アプリケーションを開始し、ディスク ドライブにアクセスできることを確認します。Solaris 上では Volume Manager (vold デーモン) が実行中であることが必要です。
- ▶ ディレクトリを DVD-ROM のマウント ポイントへ変更します。
- ▶ コマンド プロンプトから目的のアプリケーションとプラットフォームのインストールを実行します。たとえば、`./SPSS_Decision_Mgmt_61_Claims_hpux.bin`。

注：このコマンドは、バイナリ ファイルを実行するオプションを指定して DVD-ROM をマウントしている場合にのみ機能します。代替手段として、DVD-ROM のコピーを

ローカルに作成できます。インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。

- ▶ インストール プログラムに含まれる指示に従って、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services にアプリケーションをインストールします。
- ▶ インストールする各アプリケーションについて、この手順を繰り返してください。

ダウンロードしたファイルからのインストール

- ▶ ターミナル アプリケーションを起動します。
- ▶ ファイルをダウンロードしたディレクトリに変更します。
- ▶ コマンド プロンプトから目的のアプリケーションとプラットフォームのインストールを実行します。たとえば、`./SPSS_Decision_Mgmt_61_Claims_hpux.bin`。

注：インストール ファイルの権限が**実行**に設定されていることを、ファイルを実行させる前に確認します。

- ▶ インストール プログラムに含まれる指示に従って、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services にアプリケーションをインストールします。

各アプリケーションで使用するためのサンプル データおよびストリーム ファイルもまたも利用できます。これらのコンポーネントの詳細については、ユーザー ガイドの「管理アプリケーション」の欄を参照してください。

IBM SPSS Modeler Serverの名前と資格証明 の設定

IBM® SPSS® Decision Management をインストール後、IBM® SPSS® Modeler Server で使用するためのサーバーの名前と資格証明を設定する必要があります。サーバーの名前と資格証明は、IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Manager のクライアント ソフトウェアで定義されています。

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services サーバーおよび SPSS Modeler Server を起動します。
- ▶ Deployment Manager クライアント ソフトウェアを開き、IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Repository 接続にログオンします。
- ▶ リソース定義 の下で、資格証明 を展開し、SPSS Modeler Server の資格証明で使用される名前をメモに記録します。その後、サーバー を展開し、SPSS Modeler Server の定義で使用される名前をメモに記録します。
- ▶ ブラウザで IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Manager (セットアップとシステム管理タスクを実行するためのシンクライアント インタフェース) を開きます。

`http://hostname:port/config`

hostname は、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services がインストールされているマシンの名前またはIP アドレスで、port は、アプリケーション サーバーのポート番号です。IBM SPSS Collaboration and Deployment Services 管理者アカウントの資格証明を使用してログオンします。

- ▶ **設定** の下で、**Decision Management** セクションに移動します。使用する SPSS Modeler Server 接続の名前および上述の資格条件を入力します。. 名前は、Deployment Manager クラアインアトで定義されている名前と完全に一致する必要があります。
- ▶ **設定** をクリックして保存し、ログアウトします。

JAXBのインストールとプロビジョニング

IBM® SPSS® Decision ManagementはJava Architecture for XML Binding (JAXB) バージョン2.1がアプリケーション サーバーと一緒にインストールされることを要求します。

- JAXB jar ファイルはC:\Program Files\IBM\SPSS\Collaboration and Deployment Services\4.2\components\modeler\ext\lib\spss.rules\libの下にIBM® SPSS® Collaboration and Deployment Servicesインストール フォルダからコピーできます。
- JAXB のインストールは、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のインストール後、Decision Managementを実行する前に行う必要があります。
- 必ず JAXB version 2.1 を使用してください。これは重要な点ですので必ず確認してください。古いバージョンのJAXBを使用した場合、破損したファイルが保存されたり、その他の予期しない結果を招くことがあります。
- JAXBをインストールした後、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services サーバーを再起動する必要があります。手順については、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のマニュアルを参照してください。アプリケーション サーバーおよび Java™ のバージョンによっては、JAXB のプロビジョニングのために以下のような追加の手順が必要となる場合があります。

WebSphere 7.0 と Java version 1.6 を使用の場合

パッチ 4 以降が要求されます。

WebSphere 6.1 と Java version 1.5 を使用の場合

下記のファイルを、WebSphere® のインストール内の AppServer/lib/ext ディレクトリに置いてください。

- jaxb-api.jar
- jaxb-impl.jar
- jsr173_1.0_api.jar

JBoss Application Server 5.1 と Java version 1.6 を使用の場合

特別なプロビジョニングは必要ありません。

他にサポートされるJBoss Application Server環境 (4.3 と Javaバージョン 1.5 または 1.6、4.2.x と Javaバージョン 1.5 または 1.6、5.1 と Javaバージョン 1.5)

下記のファイルを、JBoss Application Server のインストール内の lib/endorsed ディレクトリに置いてください。

- jaxb-api.jar
- jaxb-impl.jar
- jsr173_1.0_api.jar
- mail.jar*
- activation.jar*

* mail.jar および activation.jar のファイルは JBoss Application Serverに付属して提供されており、Jboss の server¥default¥lib ディレクトリからコピーできます。

Oracle WebLogic Server 11 と Java version 1.6 を使用の場合

JVM のパラメータとして -XstrictFP を指定するか、別の JVM に切り替えてください。これは、JRockit が NaN を含む式に間違った数値結果を生成することを防ぐためです。

Oracle WebLogic Server 10.0 と Java version 1.5 を使用の場合

以下のステップを実行してください。

- ▶ 以下のファイルを Oracle WebLogic Server[domain]/lib ディレクトリ (C:¥Oracle¥WL10¥wlserver_10.0¥domain1¥lib) にコピーしてください。
 - jaxb-api.jar
 - jaxb-impl.jar
 - jsr173_1.0_api.jar
- ▶ 以下のEXT_PRE_CLASSPATH定義を、[domain]/setDomainEnv.cmdスクリプトのADD EXTENSTIONS TO CLASSPATHSセクション開始部分に追加します（後述の例のUNIX用.sh bat）。

```
@REM End IBM SPSS Configuration
set DOMAIN_HOME=C:\Oracle\WL10\user_projects\domain1
@REM IBM SPSS Decision Management JAXB Provisioning
set EXT_PRE_CLASSPATH=lib/jaxb-api.jar;lib/jaxb-impl.jar;lib/jsr173_1.0_api.jar;%EXT_PRE_CLASSPATH%
```

- ▶ UNIX の場合は、.sh ファイルを編集してください。セミコロン (;) ではなくコロン (:) を使用していることに注意してください。詳細なシンタックスは UNIX のシェルによって異なる場合があります。

```
# End SPSS Configuration
DOMAIN_HOME="/app/qatest/dm6/weblogic10/user_projects/domains/Domain_1"
# SPSS Decision Management JAXB Provisioning
EXT_PRE_CLASSPATH=lib/jaxb-api.jar;lib/jaxb-impl.jar;lib/jsr173_1.0_api.jar:${EXT_PRE_CLASSPATH}
export EXT_PRE_CLASSPATH
${DOMAIN_HOME}/bin/startWebLogic.sh $*
```

- ▶ JVM のパラメータとして `-XstrictFP` を指定するか、別の JVM に切り替えてください。これは、JRockit が NaN を含む式に間違っただ数値結果を生成することを防ぐためです

製品の起動

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services サーバーおよび IBM® SPSS® Modeler Server が起動されていることを確認します。起動する必要がある場合は、数分待ってから、サポートされている Web ブラウザで IBM® SPSS® Decision Management を起動します。

`http://hostname:port/DM`

hostname は、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services がインストールされているマシンの名前または IP アドレスで、port は、アプリケーション サーバーのポート番号です。IBM SPSS Collaboration and Deployment Services 管理者アカウントの資格証明、または IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services Deployment Manager で設定されているその他のユーザー資格証明を使用してログインします。

注:

- サンプル アプリケーションを少なくとも 1 つインストールするか、または独自の設定を行うまでは、ログオンできません。アプリケーションのカスタマイズと設定の詳細については、『アプリケーション デザイナー ガイド』を参照してください。
- Deployment Manager 内で 1 つ以上の管理ユーザーまたはグループを適切に設定するまで、Decision Management 管理者としてログインできません。手順については、インストールした既製アプリケーションのユーザーズ ガイドを参照してください。

でのサイレント インストールの実行

サイレント（無人）インストールでは、グラフィカル インターフェイスが表示されず、ユーザーの介入が不要です。サイレント インストールを実行するためには、最初にインストーラ プロパティ ファイルを作成する必要があります。

注：これらの手順は、上記のインストール IBM SPSS Decision Management トピックに記述された標準インストール手順の代替法としての、IBM® SPSS® Decision Management のサイレント インストールの構成と実行のステップを説明しています。IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services または IBM® SPSS® Modeler Server のサイレント インストール実行に関する情報は、これらの製品のマニュアルをご覧ください。

インストーラ プロパティ ファイルの作成方法

コマンド ラインからインストール実行可能ファイルを `-r` スイッチを付けて実行し、インストーラ プロパティ ファイルを作成します。インストーラにこのスイッチを付けて実行すると製品はインストールされません。その代わりにインストーラは、ユーザーの選択を”記録”したインストーラ プロパティ ファイルを作成します。

- ▶ インストール実行可能ファイルを使用中のコンピュータのDVDのルートにある /DecisionManagement/<OS>からコピーしてください。
- ▶ インストール実行可能ファイルに-rスイッチを付けてコマンド ラインから実行します。以下は、Windows の場合の例です。

```
install_file.exe -r
```

ここでinstall_file.exeは、実行するファイルの名前です。

Linuxでは：

```
sudo ./setup_file.bin -r
```

ここでsetup_file.binは、実行するファイルの名前です。

- ▶ ユーザーのインストール方法を選択します。完了すると、インストーラはインストーラ プロパティ ファイル、installer.propertiesを、インストーラーを実行した場所に作成します。

図 1-1
インストーラ プロパティ ファイルのサンプル

```
# Tue Jun 29 13:21:13 CDT 2010
# Replay feature output
# -----
# This file was built by the Replay feature of InstallAnywhere.
# It contains variables that were set by Panels, Consoles or Custom Code.

#Has the license been accepted
#-----
LICENSE_ACCEPTED=TRUE

#Choose Install Folder
#-----
USER_INSTALL_DIR=C:\Program Files\IBM\SPSS\Collaboration and Deployment Services\4.2\Server

#Administrator Account Credentials
#Note password is encrypted -- do not edit by hand
#-----
VAR_RPM_USER=admin
VARIABLE_RPM_PASSWORD=9C9CD6C2DBE392C2
```

複数の製品やアプリケーションをインストールする場合は、それぞれの別個の installer.propertiesファイルを作成しなければなりません。

サイレント インストールの実行方法

- ▶ ターミナル アプリケーションを使用して、インストール実行可能ファイルを、-fのスイッチに引用符で囲ったオプション ファイルの場所を付けて指定して実行します。以下は、Windows の場合の例です：

```
install_file.exe -f "c:\temp\installer.properties" -i silent
```

ここでinstall_file.exeは、実行するファイルの名前です。

Linuxでは：

```
sudo ./setup_file.bin -f "/root/installer.properties" -i silent
```

ここでsetup_file.binは、実行するファイルの名前です。

複数の製品やコンポーネントをインストールする場合は、1つが完了してから次を開始してください。サイレント インストールは、他がまだバックグラウンドで実行されている間に実行されると、エラーが発生します。

製品のアンインストール

- ▶ IBM® SPSS® Collaboration and Deployment Services がインストールされているマシンにログオンします。
- ▶ IBM SPSS Collaboration and Deployment Services サーバーを停止します。手順については、IBM SPSS Collaboration and Deployment Services のマニュアルを参照してください。
- ▶ IBM SPSS Collaboration and Deployment Services インストール ディレクトリのdecision-managementディレクトリを削除します（たとえば、/opt/IBM/SPSS/Collaboration and Deployment Services/4.2/Server/components/decision-management）。削除を実行する前に、このフォルダのバックアップを保存しておくことをお勧めします。